

平成26年度事業報告

1. 概要

わが国の景気動向は、平成26年4月の消費税の引き上げに伴う、駆け込み需要の反動などによる景気の落ち込むなか、円安や原油価額の下落などが下支えとなりまた、国の様々な景気対策など政策効果の発現により、穏やかな上向き傾向であるが、世界経済の不透明感のある1年でした。

当センター事業実績において、「契約金額」は前年度と比べ公共事業で9.1%増、民間事業等で11.8%の増となり、全体として1,683万円、10.5%の増となりました。「契約件数」も民間からの発注増により、前年度比85件増の1,332件となりました。会員数は、高齢などの理由により退会される方が入会される方の数を上回ったため、年度末で369名と前年度に比べ残念ながら5名の減少となりました。

単年度収支では、受取事務費率の引き上げや経費等の節減に努めた結果、860万円の黒字を計上することが出来ました。

以下、平成26年度事業の概要について報告します。

2. 主な事業内容

(1) 就業機会の提供

平成26年度の実業就業件数は、延2,617件で前年度に比べて件数は97件、3.8%伸びとなりました。また、373人の会員の方々が就業されました。

(2) 会員の増強と普及啓発活動

広く市民、事業所等にセンターの活動や事業内容を周知するため、下記の活動を実施しました。

- ① 広報「むこう」及びホームページを通じ、また普及啓発チラシを制作し当センターの活動や事業内容を掲載し、市民や事業所等に対して受注の拡大、会員の増強の普及啓発に努めました。
- ② 10月19日のシルバーの日に合わせて、10月20日には、市民温水プールや市民ふれあい広場周辺において会員・役員48名による除草、清掃ボランティアを行いました。また、11月16日、17日に開催された「向日市まつり」に出店し、役員及び職員によるシルバー事業の普及啓発活動の一環

として、会員募集並びに仕事の受注を実施しました。

(3) 安全・適正就業の推進

事務所において「安全標語」を掲示すると共に、会員の方々が安全の意識を常に持ち、より一層安全就業の充実を図るため、安全委員が就業現場を巡回し、事故防止に努めました。

また、適正で公平な就業を推進するため、一人でも多くの会員に就業の機会を提供できるよう未就業会員の解消に努めました。

(4) 講習会、研修会の実施

- ① シニアワークプログラム地域事業（SP事業）を京都府シルバー人材センター連合会と連携して、高齢者の雇用就業機会の確保を促進することを目的に、「植木管理講習会」を開催いたしました。
- ② 会員の日常生活や就業途中での交通事故の防止を目的として、向日町警察署員を講師に招き、「安全な自転車運転・自転車シミュレーションによる模擬運転」について交通安全講習会を実施すると共に、京都府交通安全協会が実施する「運転技能講習」を受講しました。

(5) 歳末おかたづけ応援隊事業の実施

11月中旬から12月25日までの間、地元福祉団体と協力し、生活支援を必要とする高齢者世帯のニーズへの対応として、歳末おかたづけ応援隊事業を実施しました。